



「高齢者は、人生を楽しみ、充実した老後を生きるために働いています。それはいわば働くことの原点かもしれません」と語る村岡社長

事業内容	人材派遣業、有料職業紹介業、各種請負事業
従業員数	23人
売上高	7億5600万円(2022年度)
所在地	東京都千代田区外神田3-6-4 OSビル5階
電話	03-5296-7823
URL	koureisha.co.jp

今後、中小企業でも高齢者雇用の機会が広がると思われるが、村岡はこう語る。「70歳以上は採用しないという企業もあります。働く意欲と能力を持った高齢者は多いので、先入観を持たずにまずは会ってほしい。採用を決めたら健康診断書を提出してもらった上で、常に健康状態の確認はすべきでしょう。職場は、バリアフリーまでは考えなくても、転倒事故には注意してほしい」

高齢者の活躍はこれからが本番だ。(本文中の敬称は略させていただきます)

派遣業務の6割程度がガス関連業務だ

稼げや出世のためでなく 人生を楽しむための仕事

高齢化という社会課題解決にも役立つ存在として賛同者が増え、成長してきた。村岡も東京ガスで常務まで務め、上田と職場を共にしたこともあり、請われて21年に社長に就任した。

「上田は前向きでダジャレの多い明るい人でしたが、最高のダジャレが高齢社という社名ですね」と笑う。

が、最近是一般業務も増えており、中でも家電機器の修理サービス車に同乗待機する仕事やレンタカー営業所の受付業務などが多い。レンタカー店は早朝に開店するため、朝に強い高齢者が午前中だけ勤務し、午後は自由に時間を使える。

82歳男性は、タンクローリーで運ばれてくる液化天然ガスを工場タンクに移すという重要な任務を担いつつ、スキー、社交ダンス、詩吟、マージャンと幅広い趣味を楽しんでいる。

「高齢者の労働観は現役とは違います。

名は体を表す。高齢社ほどわかりやすい企業名はない。同社は主に65歳以上の定年後の高齢者に働く場を提供する人材派遣会社だ。運営する従業員の平均年齢も約67歳であり、高齢者による高齢者のための企業といえる。

定年後のセカンドライフはゴルフと旅行ざんまいと思っけていても、半年ほどたつと退屈になるという話はよく聞く。それより、ちよつとした定期的な仕事があれば、小遣いも稼げるし、社会生活を保ちつつ、健康増進にも寄与する。何より連れ添う配偶者もその方が気が楽だ。

就労が健康増進に役立つことを示すデータもある。厚生労働省「中高年者縦断調査」によると、最近1年間で健康増進に役立つことを示すデータもある。厚生労働省「中高年者縦断調査」によると、最近1年間で健康増進に役立つことを示すデータもある。

社長の村岡不三夫(67歳)は、「65歳以上の高齢者たちの働く意欲は高いし、実際に会ってみると年齢よりも若々しい方々が多い」と語る。

現在、高齢社に登録している派遣社員は1168人、平均年齢は約72歳だ。うち就労中の派遣社員は403人で最高齢は82歳男性で、2人が働いている(2023年4月時点)。

働き方は週3日程度で、同じ仕事を2〜3人でシェアする。例えば1週間を毎日交代で勤務するなど。そうすれば、平日を趣味の時間に費やすことも、体調に問題があるときは代わってもらうこともできる。平均月収は10万〜15万円ほどで、年金生活者が大半なので、小遣いにちょうどいい。

上田は苦勞人である望が厚く、周囲を引き付ける魅力があった。当初は東京器工のためにつくった高齢社だったが、少子

働けば小遣いも稼げて 健康も増進、配偶者も喜ぶ

新発想型 中小企業

ルポライター
吉村克己

株式会社 高齢社

定年後の仕事こそ生きがい 高齢者による高齢者のための企業

調査(2018年)によれば、69歳時点で就業男性の健康改善率は不就業男性より10%程度高い。

東京ガス出身創業者の 最高のダジャレが社名

同社は、東京ガスで理事まで務めた故・上田研二が有志6人で2000年に設立した。上田が61歳でなぜ起業したかといえば、当時経営していた東京ガス子会社である東京器工の社員の平均年齢が高く、定年後も働ける場をつくるべきだと考えたこと。また、東京器工がガス機器メーカーから受注していたガス給湯器設置後の使用前検査に必要な人員を確保する必要があったことなどからだ。